

掩 蔽 課 よ り

従来掩蔽課として、考へられて來た種々の計畫は、今まで實行が延び延びになつて來て居つたが、本年は之れを大いに具體化し、發展させる計畫を建て、在來の課員及び新しく希望を持たれ方々の御盡力を御願ひし、觀測を勵行されたく、又當課も諸氏の良き相談相手となつて、協力一致して、極力發展策を講じたく、目下、下記の事項について實行を進める豫定です。

◎掩蔽の解説、觀測法、觀測地點(經度・緯度)の算出、時計の取扱ひ方法、
精密保時の問題、時計の擇び方、掩蔽の豫報について。

等に關して、今後「天界」誌上に解説、記述を行ひます。

◎本課創設以來の現在、觀測部員は下の諸氏です。(順序不同)

淺 居 正 雄氏(横濱)	淺野英之助氏(廣島)	井 澤 正 男氏(大阪)
河 合 孝 一氏(大阪)	下 保 茂氏(札幌)	西村新一郎氏(京都)
萑 部 進氏(神戸)	萑 部 守 子氏(神戸)	笹 部 榮 一氏(大阪)
清 水 眞 一氏(静岡)	高 木 幸氏(香川)	高 井 博 典氏(京都)
伊達英太郎氏(兵庫)	西 川 英 男氏(大阪)	宮 崎 正 男氏(三重)
宮島善一郎氏(長野)	森 久 保 茂氏(横濱)	山 田 長氏(山口)
山 田 才 吉氏(瀬戸)	吉 井 耕 一氏(廣島)	松山高校天文臺(松山)
井上直治氏(佐賀)	正 木 健 三氏(高知)	前 田 治 久氏(京都)
改 發 香 鳩氏(神戸)	沓 掛 七 二氏(長野)	倉 敷 天 文臺(岡山)

◎花山で見える掩蔽豫報は、今後「花山急報」にも發表します、三月の分は都合で次號に添載します。

◎觀測報告は直ちに御知らせ下さい。

◎質問は往復はがきで本課宛のこと。

花 山 だ よ り (一月)

お正月は天文臺も休みで、交替して夫々休暇を取つた。人は休んでも時計、氣象、太陽は休む譯でないから山に居る人は、のんびりと街の御祝ひ氣分にひたる事は出來ず、天文家の正月は俗世間と異つた世界である。國旗は玄關に掲揚して新玉の年を慶祝するが門松には庭木の老松を代用して間に合はせる。本年最初の月蝕は相憎の曇天で折角寫眞目錄から求めた微光星も月ともに雲に掩蔽され、徹夜で待機した臺員一同も手の出し様も無い。小雪まじりの寒風が襟をかきたてつゝ、やがて寒に入る。(月斗星)